

‘音楽でまちをつなぐ’広域ネットワーク・プロジェクト

「継承と創造、そして飛躍の予感」
第19回大分県民芸術文化祭参加行事

「第33回国民文化祭・おおいた2018」

「第18回全国障害者芸術・文化祭おおいた大会」プレイベント



WORLD GOSPEL CONCERT

コンパルホール ワールドゴスペルコンサート

国民文化祭おおいた2018へ向けて、
コンパルホール合唱団が贈る、ゴスペルコンサート

ゴスペルシンガー木村HIRO洋幸と、多彩な歌声が魅力のボーカルグループStarLights
とともに、パワフルでハートフルなステージをお届けします。

今回のテーマは、「GOSPEL History」。ゴスペルのルーツに触れ、ブルース、ジャズから
発展したゴスペルの魅力に迫ります。

華やかでエンターテインメント性豊かなステージをお楽しみください。

2017
12/3 (日)

13:30開演(13:00開場)

コンパルホール
1F 文化ホール

全席自由 前売 3,000円
当日 3,500円

(車椅子席 1,500円 ※要事前予約)

※4歳から入場できます。
※年齢にかかわらずチケットは
お一人様一枚ご用意ください。
※車椅子席はコンパルホールのみ
での販売となります。(6枚限定)



木村HIRO洋幸



StarLights

コンパルホール合唱団
共演曲

「Joy To The World」

「Joyful Joyful」
(第九アレンジー2016コンパルVer.)

「ふない・れげんだ」
(コンパルホール合唱団オリジナル曲) 他

コンパルホール合唱団



昨年開催のコンサートより

【特別出演】ホルトホール大分 豊後FUNAIミュージカル劇団

お問い合わせ コンパルホール(大分市府内町1-5-38)
TEL.097-538-3700

前売チケット お取扱い コンパルホール1F 受付/トキハ会館
大分合同新聞社本社受付・同プレスセンター

主 催: コンパルホール

共 催: 大分合同新聞社

後 援: 大分県民芸術文化祭実行委員会 大分県芸術文化振興会議 NHK大分放送局
OBS大分放送 TOSテレビ大分 OAB大分朝日放送 エフエム大分
大分ケーブルテレコム ゆふいんラヂオ局 月刊・シティ情報おおいた





木村HIRO 洋幸

幼少の頃より、ドラムを始める。高校在学中に自己のバンドでライブ活動始める。高校卒業後日本ブルース界の巨匠、近藤房之助のバックバンドとしてデビュー、その後数多くのアーティストとコンサート、レコーディング等を経験。21才の時、ヴォーカル(人の声)の魅力に惹かれてヴォーカリストに転向、ライブ、コンサート活動でヴォーカリストとして高い評価を受ける。その後、ラニー・ラッカー氏のもとでゴスペルを学び、2000年よりゴスペルディレクターとして多くのクワイアを指導、同時に自己のクワイア「HIRO's MASS CHOIR」を結成。リーダーとして総勢200名のメンバーをまとめコンサートをこなす。また、個人としてもヴォーカル、ギター、ベース、ドラム、オルガン、キーボード、マニピュレーター、作曲、編曲など幅広く活躍中。



StarLights

シンガー、ダンサー、ミュージカル女優、ボイストレーナーなど、様々な分野のプロフェッショナルが集結したエンターテインメント集団。ライブやコンサートなど内容ごとにメンバーの顔ぶれや人数が異なることが特徴。まさに変幻自在のヴォーカルグループである。個々で培った様々な経験を活かすことで生まれるパワーは圧巻。ゴスペルをルーツにお茶の間で人気のポップスから、子供たちに人気を誇るアニメソングまで、ココロに響く曲を厳選し、音楽を身近に感じてもらうことで、「音楽で共有できる心地よい空間」を創るスペシャリスト。全国各地での小学校・中学校・高等学校・特別支援学校での芸術鑑賞会、全国各地でのコンサート、ライブ、イベント出演等、多方面で活動。また、フジテレビFNS歌謡祭・ミュージックフェア・僕らの音楽を筆頭に、テレビ番組に出演し数多くのアーティストと共演するなど人気を博す。「視覚」「聴覚」「感覚」をフルに楽しませるエンターテインメント溢れるステージを展開している。音楽は誰の心にも降り注ぐ、それは歌声の流れ星。

【特別出演】ホルトホール大分 豊後FUNAIミュージカル劇団

ホールを拠点とした創造的な文化活動を目指し、ホルトホール大分の開館を記念して結成された市民ミュージカル劇団で、大分の歴史を題材とした創作ミュージカルを毎年上演しています。これまでに「少年たち～天正遣欧使節、海へ!～」 「天正遣欧使節 少年たち～失われた書物～」 「キズナのメダイ」 「ぼくたちは星空のした。」を上演しており、平成29年8月には大分市と国東市の交流交換公演として、国東市の【くにさき総合文化センター】にて「キズナのメダイ～府内南蛮絵歌留多～」を再演しました。平成30年3月18日(日)には、前回上演した「ぼくたちは星空のした。～義鎮と塩市丸～」をさらにパワーアップさせての公演を予定しています。(ホルトホール大分 大ホールにて開催) 大友宗麟の時代に思いを馳せ、1人ひとり、心から舞台で役を生き抜きます。



コンパルホール合唱団



昨年開催のコンサートより

合唱団育成事業は、平成23年のコンパルホール開館25周年を記念してスタートしました。幅広い世代の方々が音楽を通して交流を深め、皆でステージを創り上げる感動を体験できる企画として実施しています。

合唱団が取り組んでいるのは、ゴスペル—GOSPEL(ゴスペル)の語源は、「God Spell(神様の言葉)」と「Good Spell(良い言葉)」の2つの説があり、どちらもBring the Good News=「神様からの良い知らせ(福音)」の意味を持ち、そのリズム&ハーモニーは、力強く、人々の感動を呼び起こします。

コンパルホール合唱団は、これまで「大友宗麟・南蛮文化」をテーマにしたオリジナル曲「ふない・れげんだ」制作のほか、瀧廉太郎の楽曲や映画音楽のアレンジなど、さまざまな曲に挑戦してきており、昨年は、本場アメリカ出身で日本のゴスペル界の大御所、ラニー・ラッカー氏との共演を果たしました。

今回は、「GOSPEL History」をテーマに、世界で歌われ、愛されるゴスペルナンバーをお届けします。来年秋に大分県で開かれる国民文化祭おおい2018へ向けて、これまで以上にパワフルなステージを披露します。心に響くゴスペルを、大分の「まち」の中心「コンパルホール」でお楽しみください。

コンパルホール合唱団 関連企画

「宝のまち・豊後FUNAI芸術祭 音和座 大分公演」

■平成30年2月10日(土)18:30開演 ■主催・ところ／平和市民公園能楽堂
純邦楽の魅力を伝えるプロジェクト「音和座(おとわざ)」。平和市民公園能楽堂では、国内のみならずニューヨークでも活躍し文化庁文化交流使を務める三味線奏者 本篠秀慈郎氏と、その師 本篠秀太郎氏による「豊後FUNAI芸術祭 音和座 大分公演」を開催します。「和の合唱プロジェクト」として、コンパルホール合唱団も出演決定! 和楽器アンサンブルとのコラボレーションにご期待ください。

■詳細・お問合せ／平和市民公園能楽堂 Tel. 097-551-5511

